

行政経営評価（施策評価）

コミュニティの視点 （生活と空間）	6. 学区・生活圏域	「地域で自らの生活の安全を守る」という性格が強い防災・防犯などの分野と、主にかかりつけ医の範囲内での取組が求められる医療分野を【学区・生活圏域コミュニティ】に該当する分野と捉えます。
------------------------------	-------------------	---

施策分野	目指すべき姿
6-① 医療	医療提供体制の維持を図ることにより、市民が良好な医療サービスを受けられるまち
6-② 防災・消防	自助・共助・公助の役割分担により防災体制が整っており、消防団も含めた消防力が十分に整備された、安全安心に暮らせるまち
6-③ 防犯・交通安全	市民と行政が連携した取組により犯罪が起こりにくい環境が整備され、また交通安全対策が図られた、安全安心に暮らせるまち

■まちづくりの視点

市民の視点	学校等の地域拠点を媒介として多角的な交流をつくる
行政の視点	安心安全な地域づくりに取り組む
協働の視点	多様な地域づくり主体の横のつながりをつくる

■成果指標と現状

指標名 （対象分野）	計画策定時 （基準年度）	3年後 （2021年度目標値）	5年後 （2023年度目標値）	現状 （最新）	10年後 （2028年度目標値）
① 銚子市立病院の1日当たり患者数 （医療）	入院 83.7人 外来 247.7人 （2017年度）	入院 93人 外来 245人	入院 93人 外来 245人	入院 96.9人 外来 279.8人 （2023年度）	入院 93人 外来 245人
② 自主防災組織の活動力パー率 （防災・消防）	1.5% （2017年度）	4.6%	6.3%	7.5% （2023年度）	12.1%
③ 消防職員のうち救急有資格者数 （防災・消防）	66人 （2017年度末）	66人	69人	73人 （2023年度）	72人
④ 住宅用火災警報器の設置率 （防災・消防）	78.0% （2017年度末）	79.5%	80.5%	77.0% （2023年度）	83.0%
⑤ 人口1万人当たり刑法犯認知件数 （防犯・交通安全）	73.3件 （2017年）	71.1件	69.7件	61.9件 （2023年度）	66.3件
⑥ 人口1万人当たり交通事故発生件数 （防犯・交通安全）	20.2件 （2017年）	18.4件	17.3件	21.6件 （2023年度）	14.9件

成果指標と現状の分析
<p>医療の分野では、銚子市立病院の1日当たり患者数の値が順調に推移し、目標値を上回っている。</p> <p>防災・消防の分野では、自主防災組織の活動力パー率が順調に推移している。設立時の資機材整備費などの補助を行い、自主防災組織の組織化を後押ししたことで、新たに1団体が設立された。しかしながら、千葉県平均69.3%と比較すると著しく低い水準であり、今後も更なる取組の推進が必要である。防災士向けのワークショップを開催したことで、防災士の知識向上、交流の活性化に効果があった。</p> <p>防犯・交通安全の分野では、人口1万人当たり刑法犯認知件数が前年度（2022年度）と比較して大きく増加している。地域防犯力を向上させ、犯罪の起こりにくい環境を整備するため、防犯カメラや特殊詐欺対策電話機器の設置を促すとともに、犯罪被害者などへの支援についても検討していく必要がある。人口1万人当たり交通事故発生件数は、継続的に目標値を超えてしまっている。交通事故の発生を抑制するため地域に根ざした交通マナー・ルールの徹底を図っていく必要がある。</p>

行政経営評価シート

事務事業名	自主防災組織育成経費	所管	危機管理室
-------	------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-2自主防災体制の強化		
	関連計画	○ : 総合戦略		
		○ : その他 (銚子市地域防災計画)		
	目的	「共助」の要である自主防災組織の設立及び育成・活性化を図るとともに、防災士の資質の向上を図る。		
	対象	自主防災組織、防災士		
事業内容	自主防災組織を設立する際の資機材購入費などに対し補助する。また防災士の資質向上を図るためのフォローアップとして、防災ワークショップを開催する。			

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	1,039	200		100		100	

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
	自主防災組織の設立数	目標値	5団体	5団体	
		実績値	1団体	1団体	
		達成率	20%	20%	
	防災ワークショップ開催数	目標値	1回	1回	
		実績値	1回	1回	
		達成率	100%	100%	
			目標値		
			実績値		
			達成率		
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度		
自主防災組織の活動カバー率 (自主防災組織がある町内の世帯数/全世帯数)	目標値	6.3%	5.4%		
	実績値	7.0%	6.9%		
	達成率	111.1%	127.8%		
		目標値			
		実績値			
		達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載					
自主防災組織が新たに1団体が設立され資機材購入費を補助した。また、千葉県の実施する防災研修と併せ防災士向けのワークショップを開催し、防災士の知識向上、交流の活性化に効果があった。					

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性		
	高い	高い	高い	A:計画どおりに事業を進めることが適当	

事業の課題と改善策	事業の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織の活動カバー率が他市町に比べて著しく低い状況である。 ・ 自主防災組織の主単位である町内会(役員)の高齢化
	課題に対する改善策
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会への啓発を継続するとともに、補助金制度の周知を図り設立を支援する。 ・ 自主防災組織のリーダーとなる防災士の育成を図る。 (R6.5 地域の防災士による 銚子防災士会を設立)

行政経営評価シート

事務事業名	災害用給水設備整備経費	所管	危機管理室
-------	-------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-3防災対策の充実
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (銚子市地域防災計画)
	目的	災害時による大規模な断水時においても、市民の飲料水、生活用水を確保する。
	対象	市内指定避難所、指定緊急避難場所
事業内容	防災拠点に非常用給水栓や災害時用井戸を設置することで災害時における飲料水や生活用水の確保を図る。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	4,038	1,298		649		649	

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	非常用給水栓の設置数	目標値	19箇所	—
		実績値	3箇所	—
		達成率	15.8%	—
		目標値		
		実績値		
		達成率		
	事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
		目標値		
		実績値		
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
19箇所の指定避難所の受水槽に非常用給水栓の設置を予定していたが、統合が予定されている中学校など、設置後の適正な維持管理が難しい施設や、構造上などの理由で、受水槽に給水栓の取り付けができない施設があり、令和5年度は3箇所の設置となった。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性		
	高い	高い	高い	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持

事業の課題と改善策	事業の課題	避難場所・避難所の中には給水設備を設置しても適正な維持管理が難しいなど、一律に設置できない現状がある。また、学校の統廃合や地域の事情により避難場所・避難所が変更になることもあり、最低限必要な飲用水は別途備蓄しておく必要がある。
	課題に対する改善策	状況把握に努めながら、計画的に給水体制整備を図る。飲料水は最低限必要量を備蓄し、併せて災害時には応急給水を活用する。

行政経営評価シート

事務事業名	消防署車両整備経費	所管	消防総務課
-------	-----------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-4消防力の充実・強化
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (消防車両更新計画)
	目的	老朽化した消防車両を更新整備し、消防体制の万全を図る。
	対象	市民
事業内容	更新計画に基づき、老朽化した消防車両の更新整備を行う。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	7,066	7,060			6,300		760

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	広報車購入	目標値	1台	—
		実績値	1台	—
		達成率	100%	—
		目標値		
		実績値		
		達成率		
		目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
消防体制を確保するため、計画的に車両の更新整備を実施した。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持
	高い	高い	高い		

事業の課題と改善策	事業の課題	車両の更新計画期間が長く、老朽化が著しい車両も見受けられ、結果的に経費の増加を招く恐れもでている。
	課題に対する改善策	老朽した消防車両及び資器材の更新を進める。実情に合った車両及び資器材の配備、更新の計画を費用対効果を見極めながら検討する。

行政経営評価シート

事務事業名	共同指令センター機器更新経費	所管	消防総務課
--------------	----------------	-----------	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-7消防の広域化
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	指令システムの24時間365日の安定稼働を図るため、令和6年4月で運用開始から11年が経過する現行システム機器を全体更新する。
	対象	市民
事業内容	千葉県消防局内に設置されている「ちば消防共同指令センター」の指令システムの安定稼働を図るため、各消防本部側に設置されている機器を含め現行システムを更新し、令和8年度当初からの運用開始を予定している。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	743	591			400		191

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	119番通報受報件数(年中)	目標値	—	—
		実績値	4,099件	3,691件
		達成率	—	—
	隣接応援件数(隣接市町村へ応援出動した件数(年中))	目標値	—	—
		実績値	3件	3件
		達成率	—	—
	隣接受援件数(隣接市町村から応援を受けた件数(年中))	目標値	—	—
		実績値	49件	25件
		達成率	—	—
事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度	
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
()	目標値			
	実績値			
	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
24時間365日の安定稼働が図られるよう早期の機器更新が必要で、現状は、予定通り事業が進められている。				

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持
	高い	高い	高い		

事業の課題と改善策	事業の課題	総事業費約45億円の大規模な整備であり、「ちば消防共同指令センター」を構成する20消防本部の負担金も高額なものとなる。
	課題に対する改善策	千葉県ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会から機器の全体更新計画が示され、令和8年4月の運用開始について協議を進めている。 機器整備に係る負担金については、できるだけ有利な地方債の活用など、財源の確保に努める。

行政経営評価シート

事務事業名	避難行動要支援者支援経費	所管	危機管理室
-------	--------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-9災害時における要援護者の支援
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (銚子市地域防災計画)
	目的	避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難の確保を図る。
	対象	避難行動要支援者 (災害時に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援を要する者)
事業内容	避難行動要支援者の個別避難計画作成に係る業務を福祉関係者に委託する。	

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	550	374		187		187	

事業の実績と成果	活動指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
	避難行動要支援者個別避難計画の作成	目標値	100件	—
		実績値	68件	—
		達成率	68%	—
		目標値		
		実績値		
		達成率		
	事業成果指標項目	目標/実績	令和5年度	令和4年度
		目標値		
		実績値		
()	達成率			
	目標値			
	実績値			
()	達成率			
	事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載			
	令和5年度中の作成を予定した68件分の個別避難計画については、全て作成できた。			

事業の評価	評価視点			総合評価	今後の方向性
	必要性	有効性	効率性		
	高い	高い	高い	A:計画どおりに事業を進めることが適当	維持

事業の課題と改善策	事業の課題	個別避難計画の作成には、避難支援等関係者 (町内会、自主防災組織、民生委員など) の協力が必要不可欠であり、非常に多くの時間と労力を要する。また、地域には高齢者が多く、避難支援者の確保が非常に困難な状況である。
	課題に対する改善策	個別避難計画を作成していく中で町内会や民生委員、福祉事業者の避難支援に対する意識やつながりを強化する。